

法人広報紙



# かがやく瞳

じょうぶな体の子ども  
ゆたかな心の子ども  
のびのび遊ぶ子ども

No. 18

発行日 令和4年10月11日  
発行責任者 豊福猛  
編集 社会福祉法人  
北見福祉会広報委員会  
〒090-0835 北見市光西町178-5  
TEL 0157-57-5057  
FAX 0157-57-4767

## 「ほめ上手」で 良い習慣を身につける！

秋の気配も日増しに濃くなってきた今日この頃です。秋といえば、「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」…等、秋は様々に言われます。私が想う秋は「食欲の秋」ですが、皆様はいかがでしょう。(筆者)

さて、「良い習慣は、良い人生を送る」という言葉があります。子どもの頃に身につけた習慣が、私達の生活の基盤になっています。「朝起きて顔を洗い、朝食をとって、歯を磨く。」毎日、考えるまでもなく自然にできます。「笑顔で挨拶する」「本を読む」「物を片付ける」「靴をそろえる」「きちんと話を聞く」…。このような良い習慣を子ども達の生活のリズムの中にどんどん増やしてあげたいものです。一度良い習慣を身につければ、その子にとってそれはあたり前のこととなり、その行動が繰り返されます。

ただ、子ども自身だけの力では、なかなか習慣として定着させることは難しいものです。ですから、私達大人や保護者の皆様が、はじめの一步を踏み出すために約束させたり、粘り強く子どもを励まし、サポートしてあげたりすることがとても大切です。できたらきちんとほめる。できないときには声をかける。その積み重ねが、いつの間にか子どもを変えていきます。

そのためにも、まずは「ほめ上手」になることが一番です。「ほめ上手」になるには、「普通にできていることを、こまめにほめること」がコツです。しかし、単に「ほめてください」と言われても、「何をどうほめてよいのか、よくわからない。」という声をよく聞きます。

子どもが、これまでできなかったことができるようになるなど、特別なことをした時に、たくさんほめてあげようと思いますが、その機会がなかなかない場合が多いのが現状です。

そこで、子どもがあたり前の行動をした時(普通にできている時)にこまめにほめることが大切です。それが、ほめる機会を逃さないコツです。

### 【 いろいろな場面で応用できる「ほめ言葉」の例 】

#### できたことをほめる

「(～できて) かつこいいね」「(拍手しながら) すごいね」「さすが〇〇組さんは、違うね」など

#### がんばっている過程をほめる

「がんばってるね」「それでいいよ」「その調子」「大丈夫、できるよ」「ナイス・チャレンジ」など

#### 存在を認める

「おもしろいね」「お母さん、お父さん助かるな」「うれしい。ありがとう」「一緒にいると楽しいな」など

◎ワンポイント…1回注意したら3回ほめる!!

## 各こども園での「こども達の様子」を紹介します

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった「夜まつり」に代わって、子ども達と職員だけで「ちびっこ縁日」を開催しました！子ども達は、事前に選んだお面がもらえることに



前日からウキウキ状態です。縁日がスタートすると、先生やお友達と一緒にくじを引き、お目当ての物が当たって大喜び!!ゼリーすくいでは、真剣なまなざしで好きな味のゼリーをすくう姿も見られました。また、カフェコーナーではジュースを美味しくいただいたり、選んだお面を着け、法被を着て御神輿の前で「ハイ！チーズ♪」と記念写真を撮ったり、楽しい一日を過ごしました。  
(7/1「ちびっこ縁日」～夕陽ヶ丘認定こども園)



昨年度に引き続き北見市健康推進課の栄養士の方を講師に招き、「食のおはなし」を4、5歳児にさせていただきました。子ども達は、身をのりだし、食べ物体が取り入れられる様子やどんな食べ物が



体のエネルギーになるのか等、真剣に耳を傾けていました。「おやつを食べすぎは血がドロドロになるよ！」の説明に、「じゃあ、なんでおやつを食べるの〜？」等の質問が出ていました。このお話を基に5歳児では、給食の前に給食材料の三色食品分類を毎日欠かさず行っています。食べ物の大切さを学ぶことが出来た有意義な時間となりました。(9/13「食のおはなし」～光西認定こども園)



9月3日(土)青空の下、南小学校のグラウンドにて運動会が行われました。ソーシャルディスタンスを保つため、クラス毎に競技を行い、保護者の皆様にもクラス毎に入れ替えて観覧していただき



ました。当日は、緊張のあまり泣いてしまう子やそわそわしている子もいましたが、普段の活動以上の力で戸板からのジャンプや綱引き、かけっこ、リレー等に挑んでいました。子ども達それぞれが運動会を目一杯楽しんでいました。  
(9/3「運動会」～みなみ認定こども園)



## 【新型コロナウイルス感染症の収束に向けて】

新型コロナウイルス感染については、全国的に少しずつ減少傾向にありますが、まだまだ油断できない状況です。北見福祉会としまして、まず第一に考えなければならないのが子ども達の健康・安全です。そこで、北見福祉会は新型コロナウイルス感染症の収束に向けてこれまで同様、「7つの新北海道スタイル」を取り組んでまいります。

- ①マスク・手洗い
- ②検温等健康管理
- ③適度な室内換気
- ④ドアや壁・床の消毒・洗浄
- ⑤人と人との適度な間隔
- ⑥取組のお知らせ
- ⑦咳エチケットや手指消毒の呼びかけ

※ご家庭におかれましても、登園前の健康観察等のご対応をよろしくお願いいたします。また、これからは、インフルエンザの罹患拡大が心配されることです。併せて、手洗い・うがい等の励行をお願いいたします。

手洗い・うがいをしようね

